

安全な通行の確保のため 連携して土砂災害対策を推進

- 激甚化する自然災害に備え、安全な避難や交通ネットワークの確保を実現するため、道路事業、砂防事業の連携を強化し、より安全安心な社会基盤の構築を加速化

道路沿線の課題（R441の例）



道路斜面に対しては、道路事業として斜面等への事前防災が進められている

集落においても土砂災害警戒区域となっている斜面からの崩壊により、道路の寸断が懸念



高知県内の連携事例

住宅を保全するだけではなく避難路や緊急輸送道路となる路線を保全



土砂災害の恐れが高まった時の安全な避難のために必要な路線を保全

道路事業や砂防関係事業といった異なる事業の連携を強化して安全・安心な通行を確保し、整備効果を最大化